

戦没者等のご遺族へ

第10回特別弔慰金が支給されます

戦後70年の節目を迎え、国が改めて弔慰を表するため、戦没者等の遺族に第10回特別弔慰金が支給されることになりました。

◆支給対象者：平成27年4月1日において、「恩給法による公務扶助料」、「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける人（戦没者等の妻や父母等）がいない場合に、次の順番による先順位の遺族1人に支給。

- ①平成27年4月1日まで戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- ②戦没者等の子
- ③戦没者等の⑦父母 ⑧孫 ⑨祖父 母 ⑩兄弟姉妹

※戦没者等の死亡当時、生計関係有していること等の要件を満たしているかどうかにより順番が入り替わります。

④右記①～③以外の戦没者等の三親等内の親族(甥、姪等)
 ※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

◆支給内容：額面25万円

※特別弔慰金の支給は、無利子の記名国債により行われ、平成28年から毎年1回、償還日(4月15日)以降に均等に支払い(年5万円)を受けられます。償還金の支払いを受ける場所は、請求手続の際に、ご希望の郵便局等を指定します。

◆請求期間：平成30年4月2日まで

※請求期間を過ぎると第10回特別弔慰金を受けることができませんので、ご注意ください。

問 (請求窓口) 福祉課高齢福祉係
 ☎21・0265 / 各地域局

危険業務従事者叙勲

〔瑞宝双光章〕

元高梁市消防司令長
 横山 康治さん (65)



「受章に大変感謝しています。予防業務に携わった期間が長く、火災の原因をしっかりと突き止め、事業所などへの予防指導や広報に力を注ぎました」と、振り返る横山さん。
 昭和43年消防吏員に任命され、平成17年消防本部消防総務課参事、平成19年同課長を歴任。平成20年に消防長に就任し、平成21年に退職するまで、高梁市消防の発展のために尽力されました。

教育長表彰

高梁公民館講座の講師として、多年にわたり生涯学習の発展に寄与した2人に市教育委員会教育長感謝状が贈呈されました。

- 絵手紙講座講師 丸池 宣子さん (78) (松原通)
- 臥牛彫講座講師 畑 康輔さん (81) (落合町近似)

■笹川良一杯全国選抜ゲートボール大会
 グリーンドーム (5月23日～24日・宮城県)



佐倉 啓助さん 石川 敏夫さん
 大森 生善さん 平岡 賢治さん
 大森 修英さん 瀧田 英則さん
 「ミドルクラスの上位入賞者はほとんどが若者のチーム。若い人に技術でかなわないと思いましたが、次はシニアクラスで全国大会を目指します。市内でも若い人の競技人口が増えて、世界大会に出場できる人が育ってくれたら」と、代表の平岡さん。

市からのお知らせをテレビでも！

行政放送をご覧ください

市からのお知らせや情報、市長が出演する「市政だより」を高梁市行政放送でわかりやすくお届けしています。どうぞご覧ください。

問 秘書政策課公聴広報係 ☎21・0210



【市政だより】

放送チャンネル
 吉備ケーブルテレビ 121チャンネル
 放送時間(1日3回放送・毎週月曜日更新)
 ①9:30～ ②15:30～ ③21:30～

【すこやかスマイル】



【ヘルシー・レシピ】



【消防署だより】



協力隊がゆく!



こんにちは、地域おこし協力隊・成羽町担当の佐藤拓也です。2012年9月に協力隊として着任し、早いもので間もなく3年を迎えます。



きっかけは、前職の営業マン時代に旅行で訪れた吹屋の町並みに魅了されたことです。それからしばらくして、高梁市の地域おこし協力隊の募集を偶然見つけ、会社に内緒ですぐに応募し、採用が決

まりました。当時、高梁の人に話を聞くと「こんなにもない町によく来てくれた」という言葉が返ってきたのが印象的でした。あれから3年、旅行で高梁に来た関西の友達は「本当に良い所に住んでいるな、将来こんなところに住みたい」とうらやましがっています。まるで昔の自分を見ているようでした。何もないというのは、まだ発見されていない「何か」が必ず隠れていると思います。そんな可能性を宝探しのように考えながら、時に苦しみ・時に楽しみ、挑戦・失敗を繰り返しながら取り組んでいきたいと考えています。



地域の若者と企画・運営している吹屋の醤油蔵での「吹屋げんき酒場」



地域の柚子と唐辛子を使用し開発した「吹屋の紅だるま」。15年12月発売予定

活動終了後も吹屋に住み、高梁、そして岡山のまちづくり活動に取り組みしていきます。皆さま、今後ともよろしくお願いたします。